

2022 年度 大学院春季入試（政治学専攻）

博士課程（前期）

専攻科目 日本政治思想史演習

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2022 年 2 月 18 日

2 科目 日本政治思想史（100 点満点）

3 出題意図

大学院において研究を遂行するために必要な、近現代の日本政治思想史に関する基本的な知識があるかを問うものである。日本政治思想史について一定の知識を持つ者であれば、この 6 名の思想家のいずれかを取り上げ、彼らの思想をある程度論じることができると考えている。あわせて、これらの思想家が生きていた時代の日本の国内政治、および国際政治の状況についての知識が十分にあるかどうかを確認することも目的とした。

なお、本科目の試験については、原則として今回とほぼ同様の形式の問題を出す。選択肢として示す思想家の数は 6 名とは限らない。

【採点時の評価ポイント】

どの人物を取り上げるかによる優劣はない。どの選択肢にも当てはまる点としては、

- ・ 取り上げた思想家が生きていた時代の日本の国内政治の状況がどうであったかを、事実
に即して説明できているかどうか。
- ・ 同時に、その時代の国際政治の状況がどうであったかを、事実
に即して説明できているかどうか。
- ・ 上記の 2 点について、取り上げた思想家が具体的にいかなる意見を述べたのか、それが
日本政府の方向性とどのような共通点・相違点を持つのか、また同時代の世論との共通点・
相違点を持つのかを説明できているかどうか。また、それぞれの人物の代表的な著述を紹介
できていればさらに望ましい。
- ・ 取り上げた思想家が、日本政治思想史のなかでどのようにその議論が解釈されてきたの

かを理解できているかどうか。たとえば①福澤諭吉であれば「啓蒙思想家」、②中江兆民であれば「自由民権運動家」、③徳富蘇峰であれば「平民主義者」から「皇室中心主義者」への転向、④北一輝であれば「革新右翼」「国家主義者」、⑤石橋湛山であれば「小日本主義者」「大正デモクラシーの思想家の一人」、⑥丸山眞男であれば「戦後民主主義者」などという見方がなされてきた。このような解釈に対して、自分はどのようにこれらの思想家を評価するのか、自分自身の見解をしっかりと打ち出せていれば、高い評価を与えることになる。

以上